

## 9. 協働のちえ

### ～環境学習の推進～

県民・環境活動団体・行政・企業等が知恵と力を合わせ、協働しながら活動することにより、足もとの環境から地球環境へと環境保全活動の輪を広げていくことは、これから益々重要となってきています。

県では様々な機会を通じ、県民に対する学習機会を把握し、環境への意識の啓発、実践を呼びかけています。

#### エコメッセちば2004



「エコメッセちば」は、持続可能な社会を目指して、市民・企業・行政の各主体が対等なパートナーシップのもとに協働して開催する環境活動見本市です。

16年8月8日 幕張メッセ国際会議場にて開催されました。

#### 環境シンポジウム2004千葉会議

16年9月5日から5分科会が順次実施され、11月14日には10周年記念大会・全体会を開催し、大槻副知事による基調講演が行われました。

このシンポジウムでは、市民・企業・行政・大学が手をつなぎ「地球のあしたに向けて千葉からアクションを！」をテーマに、環境学習を通して環境保全を推進していくための活発な活動や交流がありました。



#### NPOによる環境講座

県では、環境学習を専門とするNPOに講座の実施を委託する事業を行っています。

写真は、委託先のNPOの1つ「ちば環境情報センター」が実施した「カヌー体験と水環境学習」と「ちば谷津田フォーラム」が実施した「谷津田を楽しもう」の様子です。



## エコマインド養成講座（環境学習指導者の育成）の開催

エコマインド養成講座は、環境について幅広い視野を持った環境学習・環境保全活動の指導者を養成することを目的としており、知識をつけるための一方的な講義形式の講座ではなく、参加者が自分の体験から学んでいく参加者主体の講座です。（定員は各コース35名）



写真は県民コース

人力で発電することの大変さを講師の自作発電機で受講生が体験しているところ。

### ◆ 県民コース

県民コースは、仕事をされている方が参加しやすいよう、平日コースの他に土日コースを設定しています。

県の試験研究機関の研究員や環境保全活動の実践者を講師として、さまざまな環境問題をテーマに環境学習を行っています。

### ◆ 教員コース

教員コースは、1泊2日の「清和県民の森」での研修を含め、全5日間で実施しています。

環境学習プログラムづくりや「総合的な学習の時間」の授業をどのように展開していったらよいのか、児童・生徒にいかに関環境に対する理解を深めさせたらよいかなどについて、体験等を通じて、指導技術の修得を目指します。



写真は県民コース

自然の中で人々が生活していた時代の農村における自然と人間の関わりについて学んでいるところ。



写真は教員コース

「清和の森を感じる」をテーマとした講座で、地元の指導者の方にご協力いただき、清和の森の生態系について学んでいる様子。

## こどもエコクラブの支援

こどもエコクラブは、小中学生が行う環境保全のための活動を支援するため、環境省が設立を薦めているクラブで、県もこの事業を推進しています。

- こどもエコクラブのサポーター（大人の指導者）などを対象とした研修会の開催。（年1回）
- こどもエコクラブなどで活動するこどもたちの交流を図るため、こども環境会議を開催。（年1回）
- こどもエコクラブなどの活動紹介、紙上交流などを載せたニュースレター「こどもエコネットちば」の発行。（年3回）



### 写真はこども環境会議ちば

16年2月14日こどもエコクラブや各学校で環境保全活動をしている子供たちが千葉市生涯学習センターに集い、活動内容の発表や交流が行われました。

## 環境学習アドバイザーの派遣

市町村・学校・住民団体等が実施する環境に関する学習会・講座などに、講師として環境学習アドバイザーを派遣する制度です。講師への謝礼は県が負担します。



アドバイザーの分野は、地球環境、自然・動植物環境、大気・水環境、ごみ・リサイクル、環境学習に分かれています。

派遣の申し込みは、随時受け付けています。

詳しくは、「千葉県環境学習アドバイザー制度のご案内」をご覧ください。

[http://www.pref.chiba.jp/syozoku/e\\_kansei/gakushu/06ado/index.html](http://www.pref.chiba.jp/syozoku/e_kansei/gakushu/06ado/index.html)

